

## 1 取組名称

経営学と金融工学を軸とした公共経営の人材育成プログラム

## 2 取組組織

社会科学研究科・経営学専攻

## 3 取組実施代表者名

社会科学研究科・経営学専攻・教授・桑田耕太郎

## 4 取組期間

1年間（平成22年度）

## 5 取組の概要

本取組では、平成19-21年度大学教育改革支援プログラム「公共経営の人材育成プログラム」を発展させ、より高度な人材育成プログラムの実施を推し進める。本専攻では、これまで、産学公の人々がそれぞれに問題意識を持ちつつ、民間企業における経営知識の意義や可能性を学ぶ場をビジネススクールとして提供してきた。

その中でも第一に特記すべきは、「アクション・リサーチ」の存在である。アクション・リサーチでは、ただ教室の中で議論を行うのではなく、実際に現地に赴き、現地の環境や人々を知ることを通じて、より緊密な関係を構築しつつ経営という問題を議論する。

同時に、本専攻では、近年発展著しい金融工学の最先端の知識を国際的な視野から吸収し、さらには発展させることを推し進めてきた。本取組においても実施されるファイナンスセミナーは、まさにそうした国際的知見を理解し、また自らが推し進めていくための重要な場となる。本取組においては、これらアクション・リサーチとファイナンスセミナーを積極的に発展させるとともに、修士課程はもとより博士課程までを見据えた教育体制の構築を目指す。

## 6 事後評価での総合評定

目的はほぼ達成された

## 7 事後評価に関する教育改革推進事業提案審査会での主な意見

- ・水ビジネスのアクション・リサーチは、多くの学生が現場に触れ、考えをまとめるという点で教育効果が大きい。
- ・今後の資金獲得他、事業継続について明確な展望が欲しい。